

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		コミュニティの形成による地域社会構造の転換がもたらすエネルギー消費削減の可能性			
研究テーマ (欧文) AZ		Reduction of Energy Consumption by Means of Organizing Local Community			
研究氏 代表名 者	カタカナ CC	姓) ナイトウ	名) マサアキ	研究期間 B	2013 ~ 2014 年
	漢字 CB	内藤	正明	報告年度 YR	2015 年
	ローマ字 CZ	Naito	Masaaki	研究機関名	循環共生社会システム研究所
研究代表者 CD 所属機関・職名		特定非営利活動法人 循環共生社会システム研究所・代表理事			
<p>概要 EA (600 字~800 字程度にまとめてください。)</p> <p>本研究は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の地域コミュニティを対象としてその構造を調査・分析し、 ・ 地域コミュニティの形成が社会にもたらすエネルギー消費の削減効果を明らかにする <p>ことを目的としたものである。三重県鈴鹿市で活動している「アズワンコミュニティ鈴鹿」という実践事例の協力のもと、コミュニティの活動の分析、参加者らの生活時間に関する調査、家庭生活におけるエネルギー消費の調査などをおこない、一般的な地域社会における居住者のライフスタイルならびにエネルギー消費構造と比較することにより、地域コミュニティの形成がもたらす効用を、環境負荷削減の観点から評価した。</p> <p>生活時間をみると、コミュニティ内での活動にともなう仕事時間が増加し、それに伴い単独で行動する時間が増加する傾向にあった。しかし一方で、食事や余暇などの行動に着目すると、参加者らが集まり、対話などを通じて長い時間を共に過ごすようになり、結果として家庭生活におけるエネルギー消費、とくに冬期の空調による電力消費量が大幅に削減されることが確認された。また、職住の近接化により一日の生活行動の大部分がコンパクトな範囲内で完結するため、移動に要する時間も大幅に短縮し、自動車利用による燃料消費が大幅に減少することも確認された。</p> <p>さらに、コミュニティ内での交流が活発化することで、参加者間での不要品のリユースや、食の地産地消なども定着することによって、間接的に大規模な製品生産・流通に伴うエネルギー消費も削減されることとなり、コミュニティ形成による地域社会構造の転換が、現代社会の大規模なエネルギー消費構造の転換にも大きな役割を果たしていることが確認された。</p>					
キーワード FA	地域コミュニティ	省エネルギー	ライフスタイル		

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

This study analyzed the activities of a local community in Suzuka City, and estimated the reduction of energy consumption by means of organizing local community such as in Suzuka.

Researches on time use show that many community participants spend long working hours alone, but they put great value on communicating with other participants and spend long time together in mealtime and relaxation time. This result leads to the reduction of household energy consumption, especially electricity for air conditioning in winter. Researches also show that many community participants live in compact living area and this causes shortening of travel time and the reduction of fuel for cars.

Researches on activities of the local community show that reuse of disused articles between participants and formation of “local production for local consumption” has an effect on indirect energy consumption of large-scale product production and distribution system.